



プレーパーク レポート

第16号

2023年9月
小鹿野町



プレーパークの横断幕が
できました！

真夏を楽しむプレーパーク！

真夏の水遊びを満喫した8月のプレーパークの様子についてレポートします。

今年の夏は暑かった…。そんな中でもプレーパークを開催した8月27日は前週よりはぐっと過ごしやすく木陰の風が気持ちよく感じる一日でした。

子どもたちは「ウォータースライダー滑りたい！」と遊び場のスタート時間とともに口にしていましたので、子どもたちや親御さん、そしてボランティアに訪れた学生たちと一緒に木材を運んで組み立てていきました。

完成したスライダーは終日大人気。常に子どもたちが滑っており、段々滑り方も工夫や大胆さが出てきました。

途中、下のジャブジャブ池の方に降りていくと遊んでいる親子が数組いたので声をかけると、「知りませんでした！」と村の広場まで上がってきてジャブジャブ池とは違った魅力の水遊びを楽しんでいました。

この日はニャッピー食堂の第4弾でおにぎりも提供があり、昼過ぎまでたっぷり夏の外遊びを楽しむ親子が多かったです。



ウォータースライダーの他にも、人気があった遊びはミストシャワーと色水遊びでした。

水遊びができる時期は1歳～3歳ぐらいの小さい子がよく遊びに来るようになりました。水は乳幼児も遊べるツールとしてハードルが低く、何より子どもたちに人気です。

ウォータースライダーを延々と滑り続ける子、ミストでまったりと水滴の気持ちよさに涼む親子、色水での実験遊びに夢中な子など、楽しみ方はそれぞれでした。

遊びの様子



7月の開催時にみんなで手形や足形などでペイントして作ったプレーパークの横断幕。その場では乾ききらずに1か月経てのマスキングをはずして完成お披露目をしました。

一緒に作った子どもや親たちとマスキングをはがすとクッキリとそして綺麗に「プレーパーク」の文字が出てきました。

完成した横断幕を中心にみんなで記念の撮影をしました。今後、この旗は目印として開催時は掲げます。ぜひ、見てみてくださいね！



プレーパークの醍醐味は子どもが自分で遊びを手作りできるところにあります。大人が用意したプログラムや、大人が作った遊具で遊ぶのではなく、子ども自らの興味関心に応じて、遊び場はどんどん変化していきます。

この日、子どもが目をつけたのは「ロープ」でした。大人がロープを出して見えるところに置いておいたのですが、見つけた子どもが自分で大人たちの協力を得ながらイメージしていたブランコをつくっていました。

自分がやりたい、つくりたいと思ったことが実現する。プレーパークは、そんな体験ができる場所です。



ハイライトはもう一つありました。この日、水風船の差し入れがあり、子どもたちは楽しんでいました。はじめは一般的な遊び方で水で膨らませた水風船を投げるというもの。

しかし、ある小学生が色水を溜めたペットボトルに水を入れていない状態の水風船をかぶせました。そのままペットボトルを手で押しつぶすと水風船が膨らむ現象を発見すると、見た目や感触の面白さに一大ブームに。名の無い遊び、最高でした。

